

川崎市青少年指導員制度発足50周年  
**青少年の健全育成に取り組んだ半世紀**  
 これまでも、これからも・・・

川崎市青少年指導員連絡協議会 会長 石橋 博  
 多摩区青少年指導員連絡協議会 会長



川崎市青少年指導員制度は、地域社会で青少年の健全な育成活動を積極的に推進し、地域の推進役を担うため、昭和39年7月に発足し、今年で50年になります。

社会環境の移り変わりとともに青少年を取り巻く環境が著しく変化し、青少年問題も深刻な状況になっており、これからの青少年活動には、様々な課題への対応が求められています。私たちが、日頃行っている活動は目に付きにくい部分もありますが、誰かが行わなければならないものです。結果は出にくくても地道に活動を続け、真正面から青少年問題に取り組んでいく姿勢こそが大切だと考えています。

青少年指導員制度発足50周年という大きな節目の年にあたり、青少年指導員自らが決意を新たにするとともに、地域からは引き続き地域活動推進の核となることが期待されておりますので、今後とも青少年の育成活動を推進するために御協力お願いいたします。

**最近の活動 (9月~12月)**

「第2回合同パトロール」登戸駅~向ヶ丘遊園駅をパトロール。毎月、各地域で1~2回パトロールを実施

「全体会議」中学生の現状について、区内各公立中学校生徒指導担当の先生と意見交換



**編集後記**

新企画がスタートして1年、少し軌道に乗った編集作業でした。「地域に元気を」「子どもたちの元気のために」と一番伝えたいタイトルで指導員の半年の活動を振り返りました。

これからも地域との連携を深め、信頼される活動とそのレポートをこの“多摩ふれ愛”に載せてお送りします。

指導員だより編集委員長 市川

**事業スケジュール**

**第1回 多摩区スポーツフェスタ**

~いろいろなスポーツを体験してみよう!  
 日時:平成26年3月2日(日)9時30分~  
 会場:川崎市多摩スポーツセンター

**第4回 自然体験のつどい**

~緑ゆたかな生田緑地で身近な自然を感じよう!  
 日時:平成26年3月8日(土)10時00分~  
 会場:生田緑地中央広場

**第3回 多摩・麻生地区中学生バスケットボール大会**

~明日のレギュラーは君たちだ!  
 日時:平成26年3月15日(土)9時30分~  
 会場:川崎市多摩スポーツセンター

**青少年指導員とは**



地域社会で青少年の健全育成や非行防止、社会環境の健全化などを図る活動を、地域の様々な組織と連携しながら進めています。

現在、多摩区では80名の指導員が神奈川県知事および川崎市長から委嘱を受け、活動しています。

- <特徴> ★白いキャップ
- ★青い腕章 ★指導員証
- ★白のポロシャツ/ブルゾン

多摩区青少年指導員 検索

**編集委員**

- 小林和彦 (堰町会)
- 三平敏隆 (登戸新町町内会)
- 服部典子 (中野島町会)
- 久後和雄 (菅町会)
- 木下 隆 (生田宿自治会)
- 細川幸生 (生田みどり自治会)
- 瀧澤清美 (かりがね台自治会)
- 市川孝夫 (理事:宿河原4丁目町会)
- 村田浩彦 (理事:飯室下耕地自治会)



多摩区青少年指導員だより

2014年1月1日  
 第42号



**多摩ふれ愛**

発行/多摩区青少年指導員連絡協議会 事務局/多摩区役所地域振興課 ☎044-935-3134 Mail:71tisin@city.kawasaki.jp

**地域を元気に**

**「獅子舞」【菅】**



毎年9月に行われる菅葉師堂の祭礼では獅子舞と子ども相撲大会が奉納されます。獅子舞は、五穀豊穡、疫病退散を願って古くから伝わる舞で県の無形文化財に指定されています。

相撲大会では、青少年指導員菅班も審判員等として早朝より運営に協力しています。

今年は、相撲大会が雨で中止でしたが、午後には雨も上がり、獅子舞が奉納されました。天狗と獅子3匹の舞手は中高生で、笛と唄に合わせて勇壮な舞を披露しました。

**「節分祭」【登戸】**

登戸稲荷社では毎年節分祭が行われています。境内には、地域の多くの人たちが集まり、大人用ブロックと子ども用ブロックに分かれ、豆まきが始まるのを待っていました。

本堂内では“関係者や年男・年女の人たちが、邪気祓い清め、無病息災を祈る”儀式が行われ、お祓いを受けた人たちの「福は内」の掛け声で豆まきが始めると、一斉に福をつかもうと、手を伸ばす姿が見られました。

みんな福をつかみ、笑顔となっていました。



**「ふれあいミュージックフェスタ」【生田】**



音楽の祭典「ふれあいミュージックフェスタ」が9月28日(土)、生田地区の小・中学生の生徒、PTA関係者が音楽を通し、楽しくふれ合うことを目的として、多摩市民館にて盛大に開催されました。

祭りのハッピー姿で力強く太鼓を打つ姿は大人顔負けの迫力です。各コーラスの歌声は美しく、特に小学生の合唱は元気で力強く、「演奏するのが楽しみ」という吹奏楽部のすばらしい演奏、フィナーレでは出演者全員で東日本大震災復興支援ソング“花は咲く”を大合唱しました。

**「自然体験のつどい」【生田緑地】**

3月第2土曜日、かわさき宙と緑の科学館と生田緑地の中央広場には約800名以上の親子が来てくれました。自然を体感するネイチャーゲーム、スポーツ推進委員の縄跳び・輪投げ、こども会連合会の磁石の釣りやペットボトルボウリング、青少年指導員は風ぐるまや竹笛づくりをおこない、大いに盛り上がりました。



## ニュースポーツ

稲田地区青少年スポーツ活動振興会の委員として、男子ソフトボール大会、少年少女ドッジボール大会、ニュースポーツフェスティバル(ユニカール・インディアカ)を実施しています。

生田地区スポーツ活動振興会の委員として、少年野球大会、ニュースポーツ体験会(カローリング)を実施しているほか、ソフトバレー大会・体験会、バレーボール大会、ソフトボール大会の運営に協力しています。



# 子どもたちの元氣のために



## 第23回多摩川ウォーキング

9月22日絶好の晴天の下、稲田地区の“多摩川ウォーキング20,000歩歩いてみませんか”が、二ヶ領のせせらぎ会館前から多摩川の下流約6kmで開催されました。

昨年の1.5倍の130名が元気よく参加し、スタッフも含め総勢150名の大きな大会となりました。子どもたちの元気な声とスタッフの掛け声が大空に響き、最高の盛り上がりとなりました。

ゴール後は、軽食、恒例のクイズ、ゲームや抽選会が行われました。大きな賞品を持つ子どもたちの喜びの声に参加者の温かい声援が響いていました。来年も趣向を凝らしてお待ちしています。



## 第44回菅町会大運動会



前日の雨で開催を心配されましたが、予定どおり10月6日に行われました。青少年指導員も進行係と記録係を受け持ち、会場設営や競技進行に協力しました。運動会は、競技者や応援の家族など大勢の参加があり、最後の地区対抗リレーは大声援の中、大いに盛り上がりました。



## 親子運動会(宿河原・長尾・堰地区)



今年度の親子運動会は、10月27日に行われる予定でしたが、雨で延期。予備日の11月4日も雨で中止になってしまいました。

毎年、親子リレー、マラソン、障害物競走、むかで競走など盛り上がる競技があるので残念でした。

## 第46回生田地区親子運動会



生田地区最大のイベントが、10月13日快晴の中開催されました。昨年雨で無念な思いをした事もあり、町会対抗種目他例年以上の盛り上がりを見せました。中でもリレーは、19町会から男女37チーム、小学生低学年から壮年まで240名が出場し、その白熱した戦いは最高潮に達しました。

## 第27回中野島連合大運動会



“競技に参加するとすてきな賞品がもらえます”いろいろな種目に挑戦する親子の姿があらこちら見受けられました。大人・子どもペアによる大玉ころがしが始まると、会場は温かい雰囲気にもまれ、終盤の優勝がかかった障害物レースや対抗リレーにはものすごい声援が飛び交っていました。(11月3日)

## 第36回登戸地区親子運動会



前日から雨で事前準備も出来ず、当日(10月6日)運営されるか心配されていましたが、雨は上がり、朝早くから準備を進めました。

途中晴れ間も見られる程に回復し、綱引きや子ども騎馬戦など、親子・地域の人たちの応援の声が響き渡り、活気よく行われました。